

JIS

フライス盤用アーバ及びその附属品 —形状・寸法

JIS B 6104 : 1998

(2002 確認)

(2008 確認)

平成 10 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS B 6104-1982は改正され、この規格に置き換えられる。

今回の改正では、日本工業規格と国際規格との整合化を目的とし、国際規格を採用することによって、改正を行った。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、公開出願後の特許出願、実用新案権、又は公開出願後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。通商産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、公開出願後の特許出願、実用新案権、又は公開出願後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

JIS B 6104には、次に示す附属書がある。

附属書1(規定) フライス盤用アーバ及びその附属品—形状・寸法—インチ系

附属書2(参考) フライス盤用アーバの附属品—アーバエンドカラー—形状・寸法

附属書3(参考) フライス盤用アーバ並びにその附属品の品質、材料、試験方法、製品の呼び方及び表示

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和 36. 11. 1 改正：平成 10. 7. 20

官報公示：平成 10. 7. 21

原案作成協力者：社団法人 日本工作機器工業会

審議部会：日本工業標準調査会 FA部会（部会長 吉川 弘之）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

フライス盤用アーバ及びその附属品 B 6104 : 1998

—形状・寸法

Milling machine arbors and accessories—Dimensions

序文 この規格は、1976年に第1版として発行されたISO 839/1 Milling machine arbors with 7/24 tapers—Part 1 : Dimensions及び1977年に第1版として発行されたISO 839/2 Milling machine arbors with 7/24 tapers—Part 2 : Accessoriesを元に、技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、附属書1(規定)には、原国際規格で規定しているフライス盤用アーバ及びその附属品の形状・寸法のうち、インチ系のものをメートル換算して規定した。

1. 適用範囲 この規格は、フライス盤用アーバ(以下、アーバという。)及びその附属品(アーバカラー、アーバベアリングカラー及びアーバナット)の形状・寸法について規定する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 839/1 : 1976 Milling machine arbors with 7/24 tapers—Part 1 : Dimensions

ISO 839/2 : 1977 Milling machine arbors with 7/24 tapers—Part 2 : Accessories

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版を適用する。

JIS B 1002 二面幅の寸法

備考 ISO 272 : 1982, Fasteners—Hexagon products—Widths across flatsは、この規格と同等である。

JIS B 4201 フライス穴

備考 ISO 240 : 1994, Milling cutters—Interchangeability dimensions for cutter arbors or cutter mandrelsは、この規格と同等である。

JIS B 6101 $\frac{7}{24}$ テーパの主軸端及びシャンク

備考 ISO 297 : 1988, 7/24 tapers for tool shanks for manual changingは、この規格と同等である。

3. 形状・寸法 アーバの寸法及びその附属品の寸法は、表1～6による。

表1 アーバ

